



# ちばりは ニュース

2017年11月 発行 第30号  
千葉県千葉リハビリテーションセンター 広報誌



〒266-0005  
千葉市緑区誉田町1-45-2  
TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857  
ホームページアドレス  
<http://www.chiba-reha.jp/>

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

## 理念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

- 私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します -

## 基本方針

利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。

日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。

地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。

## 「第52回日本脊髄障害医学会 in 千葉」 が開催されました

平成29年11月16日、17日の2日間、三井ガーデンホテル千葉（千葉市中央区）にて、吉永センター長を学会長として第52回日本脊髄障害医学会が開催されました。

本医学会は、1966年から開催されている伝統ある学会であり、脊髄損傷・脊髄障害に関する研究・医療に従事する各関係診療科の医師を中心に、看護師・理学療法士・作業療法士等が参加し、研究発表や交流を深める学際的な学会です。



満員の特別講演



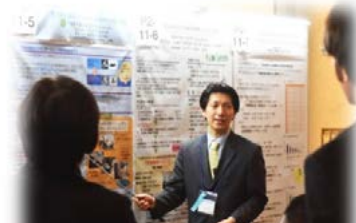
シンポジストの露崎氏

当センターは、千葉県の脊髄損傷者支援の中核施設として、本学会の運営の中心となり、本学会の実現に向け、準備を進めてきました。また、当センターから4題の研究報告をし、日頃の取り組みの発信と全国の脊髄損傷者支援者に携わる方々と深い議論を行い、今後の新たな課題への挑戦を決意しました。

本学会で得た最新の知見や取り組みを元に、当センターでは、今後の脊髄損傷者支援のさらなる充実をはかり、千葉県のみならず全国の脊髄損傷者の社会参加の支援の充実に向けて、活動していきます。



今大会は吉永センター長の専門分野であるリハビリテーションの視点から「脊髄損傷者の社会参加をめざして」を大会テーマとして、脊髄損傷・脊髄障害の予防、基礎的研究から治療、そしてリハビリテーションに至る幅広い領域の講演・シンポジウム・研究報告があり、全国から603名が参加しました。その内容は、脊髄再生治療やICT・ロボットを活用した最先端の研究や取り組みの報告、そして当事者の方をシンポジストとした社会参加に向けた提言等、多岐にわたるものでした。



センター職員の研究報告



学会運営に携わったセンター職員

# 「高次脳マッチドオフィス」を開設しました 高次脳機能障害支援の経験から生まれたチャレンジ雇用

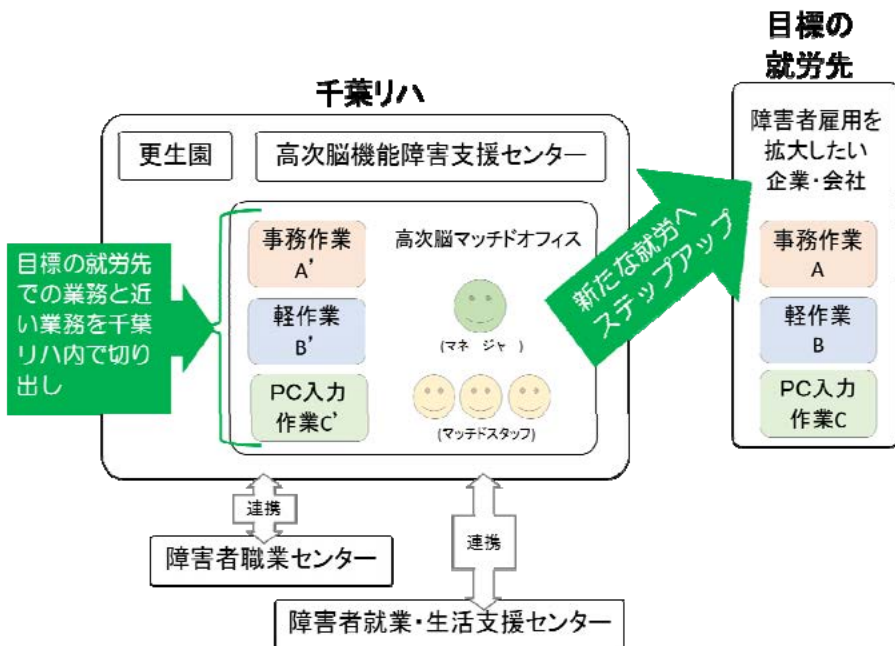
千葉リハでは、各当事者にとって新たな就労へのステップとなること、高次脳機能障害者の雇用モデルとして全国へ発信すること、当センター職員の高次脳機能障害への理解の更なる向上、を目指して、平成29年10月1日、「高次脳マッチドオフィス」を開設しました。

## どうして千葉リハで高次脳マッチドオフィス？

高次脳機能障害（参考1）への取組みにおいて、千葉リハは15年以上の実績を有し、小児から成人まで、医療の面と福祉の面から、総合的に支援を行ってきました。今では、小児期に支援した子どもたちが青年期を迎え、成人して、千葉リハで就労支援を受けるまでになっています。

また、高次脳機能障害者の就労支援については、医療施設（病院機能）、高次脳機能障害支援センター、更生園（障害者支援施設）が連携することで、直近5年間（H24～H28）で190名の就労を実現し、その内の86名が新規就労を実現しています。

高次脳マッチドオフィスは、これらの強みを活かし、高次脳機能障害者のチャレンジ雇用（参考2）に千葉リハ自身が挑戦しようとするものです。



採用されたスタッフは、最長3年の雇用期間の中で、千葉リハで働きながら新たな就労をめざします。そのため、高次脳マッチドオフィスでは、目標とする就労先企業の具体的な業務内容についての情報を集め、実際の就労先と近い業務内容を、千葉リハ内の業務から切り出し、高次脳機能障害のあるスタッフが作業可能なように、その工程を工夫しています。また、外部の障害者職業センターや障害者就業・生活支援センターとも連携しています。



一般職員とのやり取りの風景

### 参考

1. 高次脳機能障害：事故などによる脳外傷、心配停止による低酸素脳症などで脳を損傷し、「物覚えが悪くなった」「何かにこだわり過ぎるようになった」「怒りっぽくなった」など、いままでは見られなかった症状が表れる障害です。
2. チャレンジ雇用：障害者が一般雇用へ向けて経験を積むことを目的とした、次のステップのための雇用で、約10年前から国・地方自治体で取組みが行われています。

## 高次脳マッチドオフィス 業務の一例

### 郵送物の発送準備

- 1) 郵便物の重さを量る
- 2) 送料を調べて依頼票に書く
- 3) 必要な切手の枚数を依頼票に書く
- 4) その日必要な切手をメモして、切手帳から出す
- 5) 切手を貼る
- 6) 使った切手の枚数を書いた依頼票を番号順にして綴じる

一般の職員は、一通ずつ手に取っては、重さを量り、送料を調べ、使う切手の枚数の記録までを行っていましたが、高次脳マッチドオフィスでは、障害の特性に配慮し、これをいくつかの工程に分けて、一通ずつではなく、その日の郵便物の束に対して、一工程ずつ作業を行うことにしました。



重さを量って



切手の貼り付け

郵便物	重量	料金	郵便物	重量	料金
第一種郵便物	25g以内	82円	第二種郵便物	1kg以内	200円
	50g以内	92円		4kg以内	650円
	50g以内	120円		1万円未満	430円
	100g以内	140円		10万円未満	430円
	150g以内	205円		5万円未満	310円
	250g以内	250円			
第二種郵便物	500g以内	400円	特殊取扱料金(郵便物)		
	1kg以内	600円			
	2kg以内	870円			
	4kg以内	1,180円			

送料を調べて

マッチドオフィスオリジナル 切手の枚数確認メモ

	枚数
2円	
5円	
10円	
20円	
50円	
82円	
100円	

自分のメモや、もらったメモを見返しながら、自分に解り易い手順書を作ります

## 九都県市防災訓練に参加しました

毎年県下の行政・関係機関・市民が5000人規模で参加する、九都県市合同防災訓練(参考1)に、今年も当センターは千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会(参考2)の構成団体として職員派遣を行いました。

訓練では、災害要援護者に対する避難所設営を匝瑳市民自主防災組織との実演や、防災フェアの中で避難所の生活環境整備に関するデモンストレーションを行いました。

今後も、当センターでは県内の災害リハビリテーション対策に尽力して参ります。



センター長による県知事対応



自主防災組織の方への指導

### 参考

1. 九都県市合同防災訓練：首都圏の9つの都県市(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)が連携し、各都県市で実施する防災訓練。今年第38回目の千葉県会場は、平成29年8月26日(土)、匝瑳市のそうさ記念公園で開催されました。
2. 千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会：通称C-RAT、会長は吉永センター長。10の構成団体からなり、発災時の避難所支援等を行います。



メンバー集合写真



千葉日報8/27朝刊1面

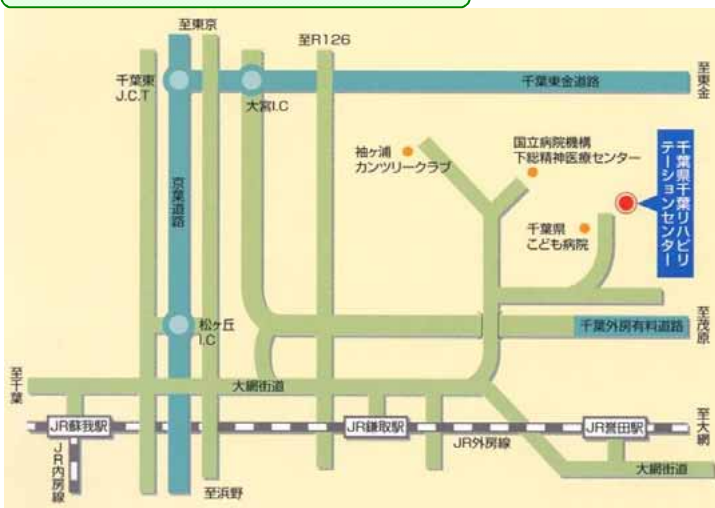
第13回高次脳機能障害リハビリテーション  
千葉懇話会（ご報告）

9月29日(金)、千葉市民会館にて第13回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会を開催いたしました。今回は、一般社団法人クオルトン研究所職業カウンセラーの松田啓一先生から、「高次脳機能障害者の就労支援～発達障害との対比から見えてくること～」と題して、現代社会においての高次脳機能障害の支援についてお話をいただきました。

当日は医療・福祉・就労関係者180名を超える方々にご参加いただき、質疑応答も活発に行われ、会場は盛況を博しました。



センター案内図



車のご利用

- ・千葉東金道路 大宮インターから約10分
- ・京葉道路 松ヶ丘インターから約25分

電車・路線バスのご利用

- ・JR外房線鎌取駅北口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約9分
- ・JR千葉駅東口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約40分  
(土曜・休日のみ)

無料送迎バスのご案内

平成26年8月1日改定

(センター JR 鎌取駅 循環運行)

JR鎌取駅北口発 千葉リハビリテーションセンター行き 千葉リハビリテーションセンター発 JR鎌取駅北口行き

時	平日	土曜日
8	10 30 50	10 30 50
9	10 30 50	10 30
10	10 30 50	20 40
11	10 30 50	00 20 40
12	10 30 50	40
13	10 30 50	
14	10 30 50	
15	10 30 50	
16	10 30 50	
17	10 40	

時	平日	土曜日
8	03 23 43	03 23 43
9	03 23 43	03 23
10	03 23 43	13 33 53
11	03 23 43	13 33
12	03 23 43	33
13	03 23 43	
14	03 23 43	
15	03 23 43	
16	03 23 43	
17	03 33	

センター送迎バス発着場所について  
鎌取駅発・・・鎌取駅北口ロータリー付近  
(専用のバス停はございません)  
センター発・・・センター正面玄関前  
車椅子ご利用の乗車定員について  
中型バス(黄色)・・・2名  
マイクロバス(水色)・・・3名  
日曜・休日は運休となります。  
道路混雑等により遅延する場合があります。

イベント開催のお知らせ

第14回  
高次脳機能障害リハビリテーション講習会  
「当事者・家族の思いと高次脳機能障害支援」

日時：1月13日(土) 12:30～15:40  
場所：京葉銀行文化プラザ 6階 櫛の間  
講演

「高次脳機能障がい者と家族への心理支援～地域支援を中心に～」  
(講師：医療法人巖心会 枳内第二病院 臨床心理士  
リハビリテーション心理職会 会長  
山舘 圭子氏)

当事者による体験談

「身体障害と高次脳機能障害を抱えて働くことを通して」

第3回  
千葉県災害リハビリテーション支援関連団体  
協議会(C-RAT)研修会

日時：1月27日(土) 9:30～12:00  
場所：千葉県教育会館 新館大ホール  
特別講演

「平成29年7月九州北部豪雨における大分JRATの活動(仮)」  
(講師：JCHO湯布院病院附属居宅介護支援センター  
大分JRAT事務局 看護師 會川 裕子氏)

その他講演予定

第11回  
千葉県地域リハビリテーションフォーラム

日時：1月27日(土) 13:00～16:30  
場所：千葉県教育会館 新館大ホール  
基調講演

「地域包括ケアシステム構築における地域リハビリテーションの推進(仮)」  
(講師：埼玉県福祉部 障害者福祉推進課  
主幹 鈴木 淳子氏)

その他ポスターセッション・シンポジウム予定